

一般入試後期D日程

世界史

I

■出題のねらい

インドや東南アジア、アメリカなど古代アジア・アメリカの歴史について出題しました。設問では、古代インドの民族、各地域の文明や王朝・王国、宗教、独自の文化などについての知識理解を問いました。また、東南アジアの歴史的建造物の特徴については地図を使った形式で出題しました。

■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題も低かった（20%以下）問題もありませんでした。
各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
I	1	③	ア・イアーリヤ人は前1500年頃にインダス川中流域に進出し、前1000年頃にガンジス川流域へ移住した。 ウ『シャクンタラー』はグプタ朝時代のカーリダーサの作品。
	2	③	a シク教ではなくジャイナ教。
	3	②	①プルシャプラではなくパータリプトラ。 ③カニシカ王ではなくアショーカ王。 ④これはグプタ朝の時代。
	4	①	マタラム朝は東南アジアの王朝。ウルドゥー語は主にムスリムが使用したインド=イラン語派の言語。
	5	③	①チャム人ではなくピュー人。 ②チャオプラヤ川流域ではなくイラワディ川流域。 ④タウンゲー（トゥンゲー）朝ではなくスコタイ朝。
	6	④	a マジャパヒト王国ではなくアンコール朝。 Xはアンコール=ワット、Yはボロブドゥール。
	7	②	a 1009～1225年→ c 1225～1400年→ b 1428～1527、1532～1789年
	8	④	エチャビン文化は前1000年頃以降ペルー北高地で栄えた。 オ線文字ではなくマヤ文字。
	9	①	②④これはインカ帝国。 ③鉄器や馬は用いられなかった。

II

■出題のねらい

イベリア半島をテーマに出題しました。設問では、イスラーム王朝やキリスト教世界との関係、大航海時代のスペイン・ポルトガルの状況、フランスとスペインの関係など、イベリア半島に関わる国や勢力についての歴史事項について問いました。

■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題は11、12、13、14、15です。正答率が低かった（20%以下）問題は18です。

各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
II	10	⑦	前264～前146年のポエニ戦争でローマはカルタゴに勝利した。
	11	④	イベリア半島に建てられたゲルマン人の王国は西ゴート王国（418～711年）。東ゴート王国はイタリア半島に成立した。
	12	⑩	カスティリャ王女と結婚したアラゴン王子はフェルナンド。
	13	③	ナスル朝の都はグラナダ。コルドバは後ウマイヤ朝の都。
	14	①	ポルトガルの首都はリスボン。
	15	⑥	ルイ14世の孫はフェリペ5世。
	16	④	①これは11世紀。 ②③これは12世紀。
	17	②	スペイン領ではなくポルトガル領。
	18	⑥	c 1517年→b 1534年→a 1555年
	19	③	a リシュリユではなくマザラン。
	20	③	①フレンチ=インディアン戦争は七年戦争と並行して起こった。 ②パリ条約ではなくユトレヒト条約。 ④これはパリ条約。
21	①	②「キオス島の虐殺」などを描いたフランスの画家。 ③「ナポレオンの戴冠式」などを描いたフランスの画家。 ④20世紀に「ゲルニカ」を描いたスペイン出身の画家。	

III

■出題のねらい

近現代の国際会議に関する歴史について出題しました。(A)では19世紀のヨーロッパをリード文で示し、フランス革命での出来事やウィーン体制下のヨーロッパ、ベルリン会議の内容について、(B)では第一次世界大戦後から第二次世界大戦までをリード文で示し、国際会議の内容や国際連盟、国際連盟について出題しました。

■採点講評

正答率が高かった(80%以上)問題は27です。正答率が低かった(20%以下)問題は29です。各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
III	22	⑤	c 1793年→ a 1794年→ b 1799年
	23	③	①教皇ではなくイギリス。 ②シュマルカルデン同盟ではなくライン同盟。 ④エルバ島ではなくセントヘレナ島。
	24	①	アタレーランはウィーン会議に出席したフランス外相。 イカルボナリによる蜂起はイタリアのナポリやピエモンテで起こった。
	25	④	①トルコマンチャーイ条約ではなくサン=ステファノ条約。 ②③1908年の青年トルコ革命の影響。
	26	③	①太平洋を探検したイギリスの軍人・探検家。 ②南極点に到達したノルウェーの探検家。 ④太平天国の鎮圧に貢献したイギリスの軍人。
	27	①	②「平和に関する布告」ではなく十四カ条。 ③シリアはフランスの、イラクはイギリスの委任統治領とされた。 ④二十一カ条の要求の取り消しは認められなかった。
	28	②	b 国際連盟の制裁手段は経済的制裁のみであった。
	29	②	地図中の a はポツダム、 b はヤルタ、 c はカイロ、 d はテヘラン。
	30	④	オウエストミンスター憲章は1931年。 カパグウォッシュ会議は1957年。

IV

■出題のねらい

世界史上の事件を取り上げ、その事件に関する歴史の基本事項について、幅広い時代・地域から出題しました。事件の内容に加え、その事件の背景や影響について、組合せ、二文正誤問題、年表を使った問題や地図問題など様々な出題形式で問いました。

■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題も低かった（20%以下）問題もありませんでした。

各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答 番号	正答	解 説
IV	31	②	bバビロン第1王朝ではなく新バビロニア（カルデア）。
	32	③	ルイ9世（位1226～70年）、グレゴリウス7世（位1073～85年）。
	33	①	ア地図中のbはタタール。 イ万暦帝（位1572～1620年）。
	34	①	フランスではなくオランダ。
	35	②	ウブーランジェ事件は1887～89年。 エヴィクトル＝ユゴーは『レ＝ミゼラブル』を代表作とするフランスのロマン主義作家。
	36	④	①イタリアではなくドイツ。 ②③これは20世紀。
	37	④	血の日曜日事件当時のロシア皇帝はニコライ2世。 ①これはニコライ1世。 ②これはアレクサンドル2世。 ③これはアレクサンドル1世。
	38	③	b 1928年→ a 1936年→ c 1937年
	39	②	ハンガリー反ソ暴動（ハンガリー事件）は1956年に起こった。
	40	①	オクリントン（任1993～2001年）。 カタールバーン政権はアフガニスタン。